

学びの教室 授業指導案

クラス

対象年齢： 年長～小2

5 月 1 週目

作成者： 真本 千恵

テーマ 時計を読む

めあて 時計の長い針と短い針の概念を理解し、一日の生活の流れと時間との関係を知り、～時、～時半を読めるようにする。

時間	めあて	指導教材	板書No.	授業展開と留意点	生徒の行動
10分	<導入>視覚トレーニング	ぐるぐる迷路レベル2			先生の話を聞く。
10分	時間を決めて行動していることに気付く	絵カード		朝起きる時間、学校へ行く時間、給食の時間、学校から帰る時間、おやつの時間、夕食の時間、寝る時間を見せながら一人ひとりの一日の生活の行動について話し合う。	一日の行動の時間について発表する
20分	ちょうどの時刻と「～時30分(半)」の読み方を知りプリントを解く	プリント		①時計の文字盤に数字を書き込む②時計の模型を動かしながら、ちょうどの時刻を読む③長い針が6のところにあると「30分(半)」であること、短い針は「～時」と読むことを覚える(特別支援教育 算数プリント初級2)	①説明を聞く②問題を解きながらわからないときは実際の時計を操作して考えてみる。
10分	時計を読む			生徒同士がペアになって時計を「～時」「～時30分(半)」をつくり、もう一人が時計を読む	生徒同士で問題を出し合って答える
10分	読み聞かせ				

宿題 のびじyan

板書No.1	板書No.2	板書No.3
1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12	例:1時、2時半、5時、6時半	

※全体的なこととして、プリント学習ばかりにならず、板書をうまく行って指導ください。

学びの教室 授業指導案

クラス

5月2週目

対象年齢：

作成者：眞本 千恵

テーマ	時計を読む				
めあて	5分単位の時刻や1分刻みの時刻を正確に読み取れるようにする。				
時間	めあて	指導教材	板書No.	授業展開と留意点	生徒の行動
10分	<導入>視覚トレーニング	ぐるぐる迷路レベル2			先生の話を聞く。
20分	5分刻みの時計を読む	プリント		①時計の長い針が指示する数字をみて文字盤に数字をいれる。②時計の長い針を5分刻みに動かして生徒によんでもらう。③プリントを解いてもらう(特別支援教材 算数初級2)	①文字盤に数字を書く②講師の示した時間を読む ③プリントを解く
20分	1分単位の時刻を読む			①時計の長い針を1分刻みに動かして生徒によんでもらう。②プリントを解いてもらう(特別支援教材 算数初級2) *時間があまれば講師の指示する時計の時刻を読んでもらう	①時計を見ながら長い針を読む②プリントを解く
10分	読み聞かせ				
宿題 のびじyan					

板書No.1	板書No.2	板書No.3
5、10、15、20、25、30、35、40、45、50、55、60	黒板に置いた時計を操作する	

今月の家庭学習のポイント	計算ができなくても、ぜひお使いの経験をさせてみてください。いくら出したらよいか経験をつみ、おつりがいくらになるかを考えることもよい勉強になります。
--------------	---

学びの教室 授業指導案

クラス

5月3週目

対象年齢：

作成者：眞本 千恵

テーマ	時計を読む
めあて	「～時間前」「～時間後」、「～分前」、「～分後」について理解する

時間	めあて	指導教材	板書No.	授業展開と留意点	生徒の行動
10分	<導入>視覚トレーニング	ぐるぐる迷路レベル2			先生の話を聞く。
20分	現在の時刻を中心に「～時間前」、「～時間後」の時刻を考える	プリント		①現在の時刻を読み取らせる。②時計の針を操作しながら～時間前、～時間後を生徒に考えさせる。③プリントを解いてもらう(特別支援教材 算数初級2)	①現在の時刻を読む②講師の示した時間を読む③プリントを解く
20分	「～分前」は時間が戻り、「～分後」は時間が進むという概念を知る。	プリント		①時計をプリントの時間に合わせて、長い針を進めたり戻したりしながら5分単位で動いた分を生徒によんでもらう。②プリントを解いてもらう(特別支援教材 算数初級2)	①時計を見ながら長い針の動いた時間を読む②プリントを解く
10分	読み聞かせ				

宿題 のびじyan

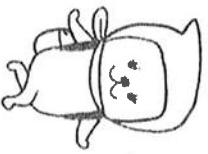
板書No.1	板書No.2	板書No.3
時計を4時に合わせて黒板に置く	～分前、～分後と書いて時計の針を動かす	

今月の家庭学習のポイント	～分後に開始、～分前に集合、～分間休憩など生活の上で時間の概念は欠かせないものなので、正しい時刻を読み取り行動できるように、ご家庭でもキッチンタイマーなどを使って時間の感覚を養うようにしましょう。
--------------	--

4 時刻

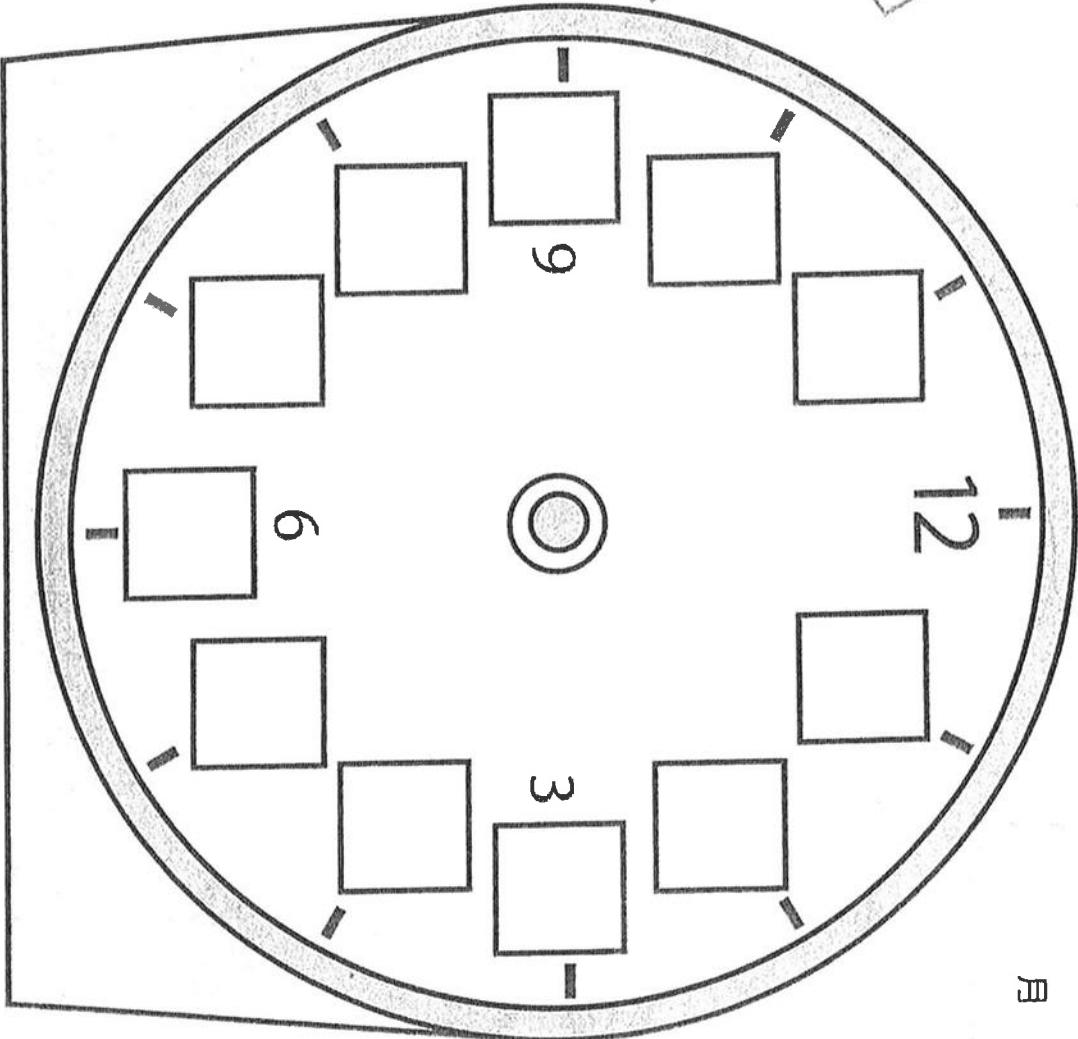
1 時計作り

□に数字を書きましょう。
また()で当てはまるほうに○をつけましょう。



おじかい はいは
(時・分) を
あらわします。

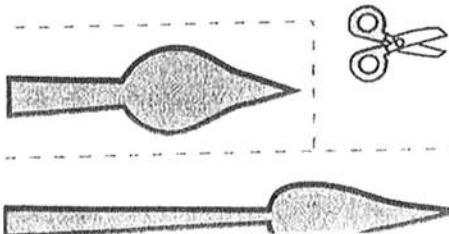
長い はりは
(時・分) を
あらわします。



月 日
なま

1時、3時など
ちょうどの時こくを
つくってみましょう。

はりにしめしょ。



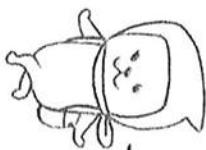
教材の示
針を切り取って時計を作ります。「長い針」「長い針」を使って、「3時など」と「3時など」を比べてみましょう。

書き記 (できたら書いて塗りましょう)



4 時刻

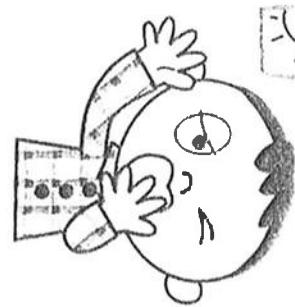
70



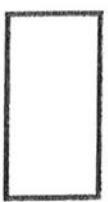
何時か書きましょう。



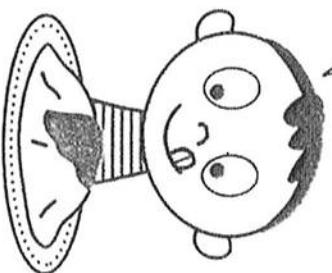
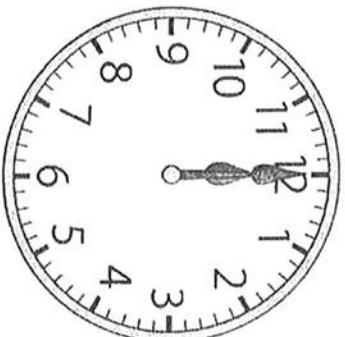
時



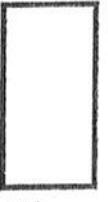
おひるごはんは
何かかな。



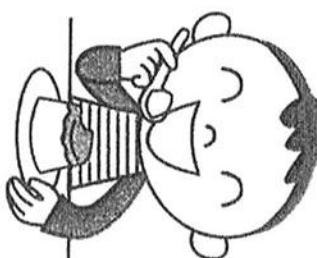
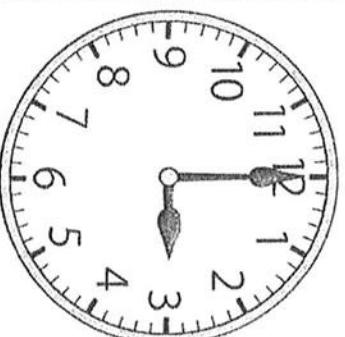
時



おやつだ！



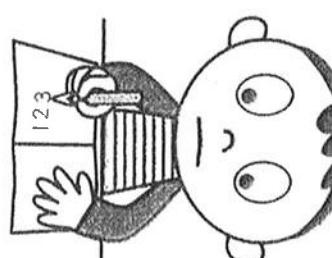
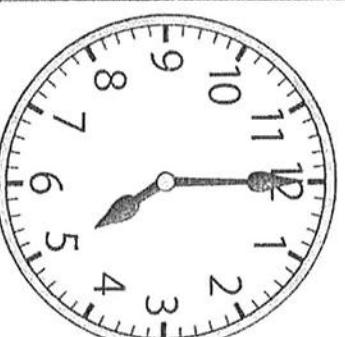
時



べん
きょう
強しよう！



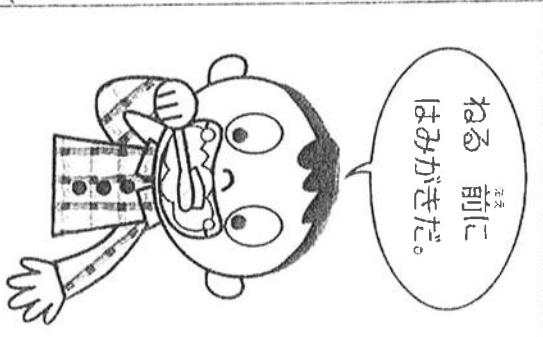
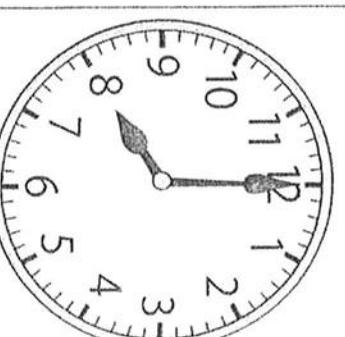
時



ねる
まえに
ねみがきた。



時



おはよう。

2 ちょうどの時刻

教材のポイント

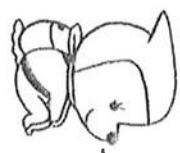
ちょうどの時刻を書く練習です。無い針があるところを教えること。「おやつを食べたのは何時だった？」などやりとりをしながら实物の時計の針を動かしてみましょう。

指	記	(できたら「で図みましょう」)
くる	（へて）	あきて（さなづけ）
さか	（あけて）	あきて（さなづけ）
じゅう	（じゆう）	じゅうじゅう
じゅうじゅう	（じゆうじゆう）	じゅうじゅう

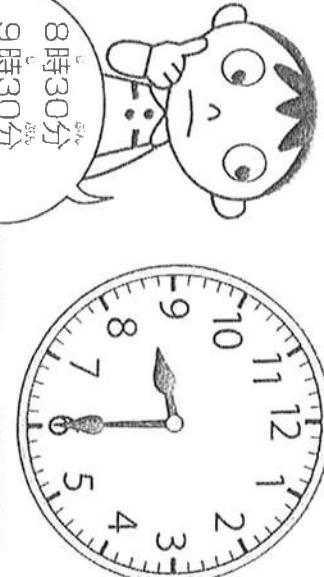
4 時刻

3 「○時30分」の時刻

□に当たはまる数字を書きましょう。



30分は「半」とも
いいます。



□ 時 □ 分
□ : □
とも書けるよ。

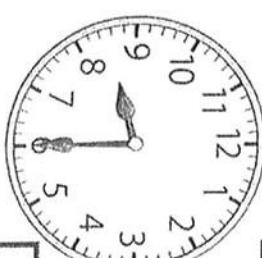


月 日 なまえ

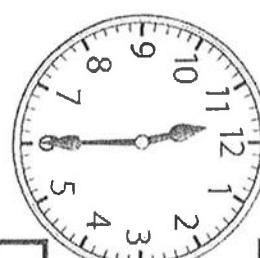
つきの時こくを書きましょう。



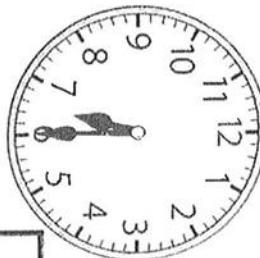
□ 時 □ 分
□ : □



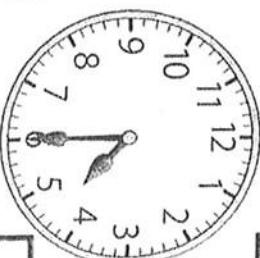
□ 時 □ 分
□ : □



□ 時 □ 分
□ : □



□ 時 □ 分
□ : □



□ 時 □ 分
□ : □

教材の特徴

長い針が止まるところに、「30分(半)」であることを覚えます。短い針が止まるところ、「30分(半)」を読みます。短い針が止まる場合、「みじかい」(ひのへや)を覚えさせましょう。

指記 (できたらで用みましょう)

さあ
でさな
ねえで
りほじ
くわん

時ごくを読みましょうー



時半



時半



時半



時半



時半



時半



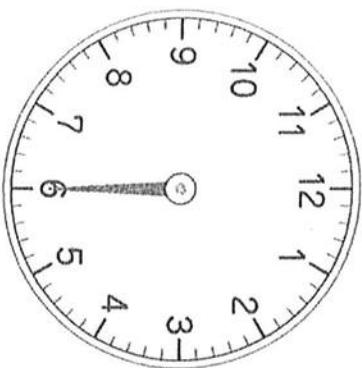
時半

○時半のことは、
○時30分とも
読みなんだよ。



短いはりを正しく書きましょう—②

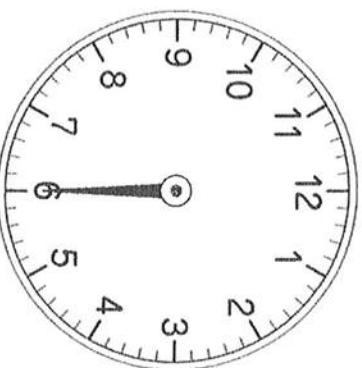
10時半



2時半



5時半



12時半



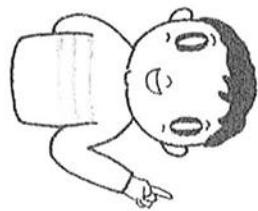
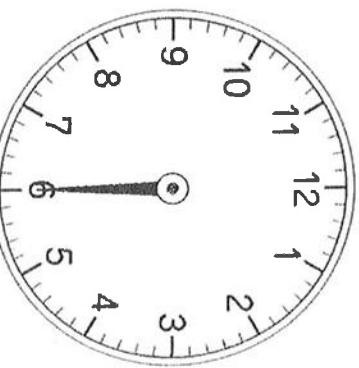
11時半



6時半



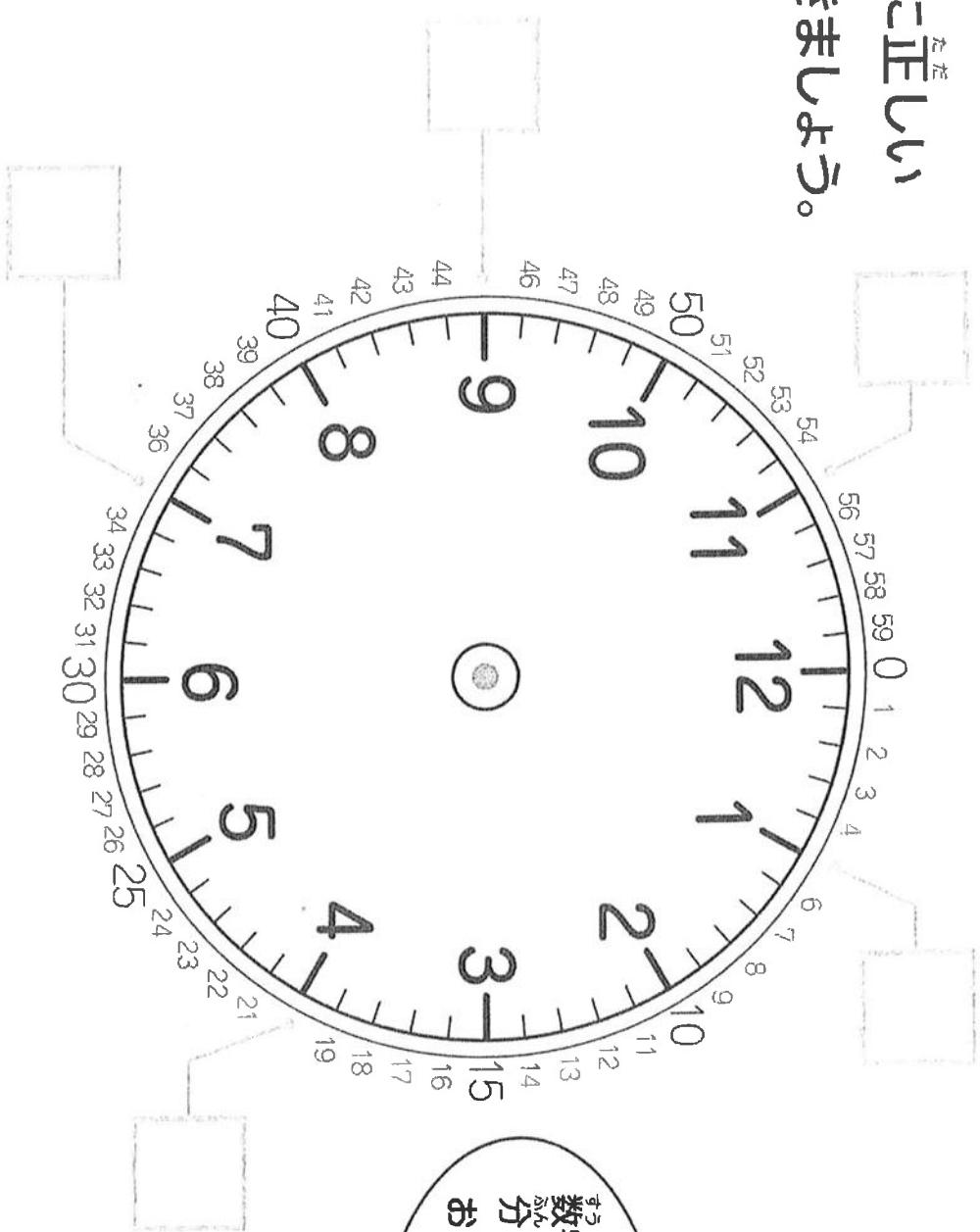
9時半



半の短いはりは、
数字と数字の
まん中なんだね。

文字ばんに数字をいれましょう(□分)

のなかに正しい
ただ
数字を書きましょう。

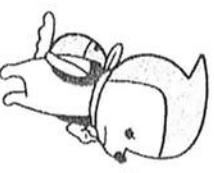
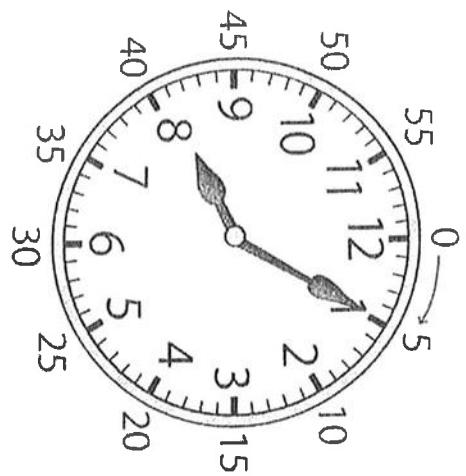


数字を書きながり
分のよびかたを
おぼえようね！

4 時刻

4 10分単位、5分単位の時刻

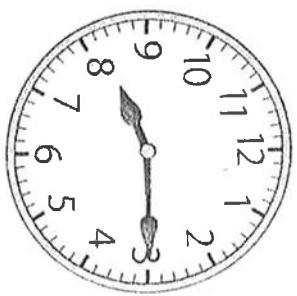
長い はりが さす あもりは
「分」を あらわします。



何時何分でしょか。時こくを書きましょう。



8 時 分



時 分



時 分



時 分



時 分



時 分



時 分

教材の元

5分きざみの時刻をさす表です。手本を見ながら、長針が何分をさすかは、さすかのように速めましょう。実物の時計も使って、針を動かしてみましょう。



4 時刻

4

時刻

5 1分単位の時刻

何時何分でしようか。時こくを書きましょう。

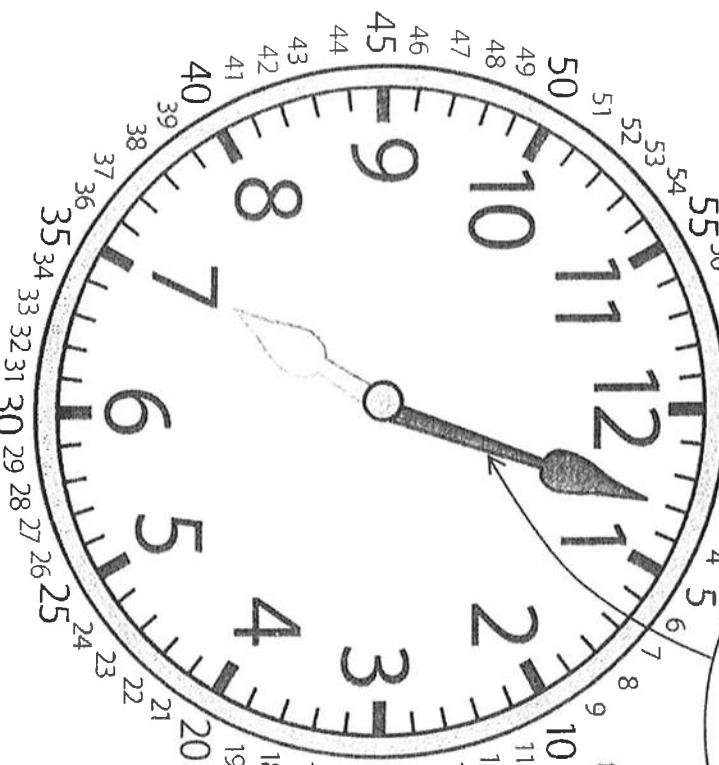


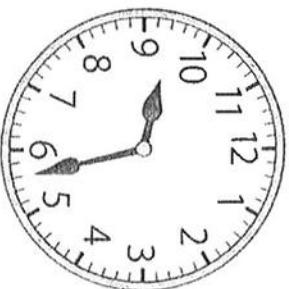
1時間ま
であります。

分です。

0分から59分まであります。

長いはりがさす数字が何分かをあらわしています。















教材の示

1分単位の時刻を読み取ります。手本を見ながら、長針の読み方を覚えさせていきましょう。一人では自信がなきな場合は、左の図を切り抜いて活用できるようになります。実物の時計も動かしてみましょう。

指

記

(できたらいで囲みましょう)

（一冊でまた）

（おおてまた）

（おおじまた）

（おおじまた）

（おおじまた）

（おおじまた）

（おおじまた）

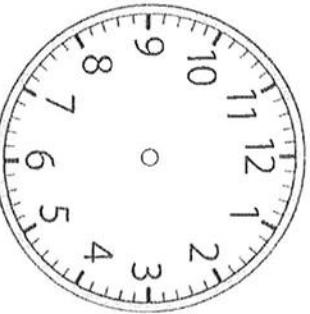
4 時刻

6 文字盤に針を書き入れる

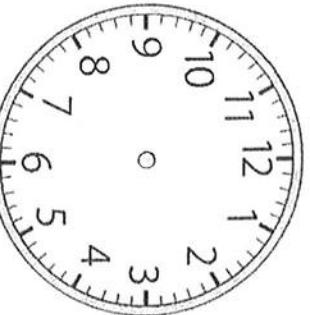
つぎの時こくをあらわす
はりをかきましょう。



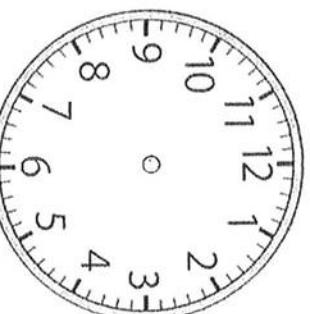
11:10



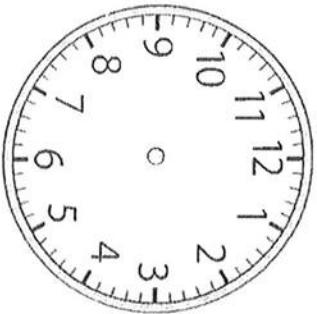
5:35



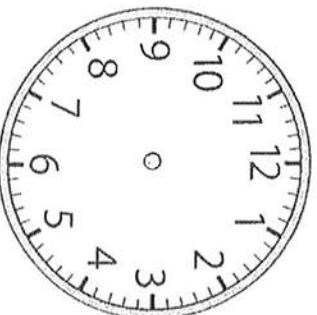
1:15



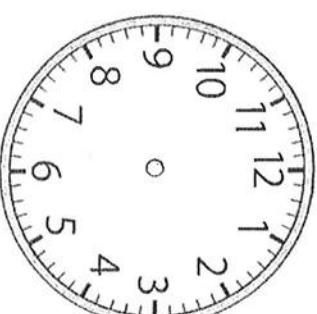
9:33



3:46



7:58

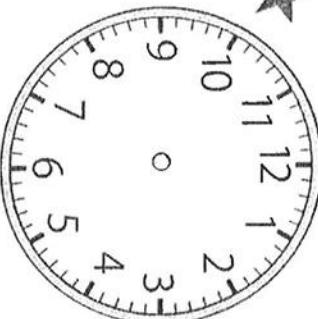


教材のポイント

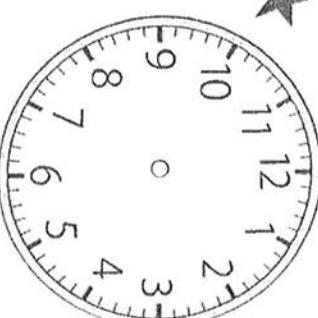
時刻の読み取りの復習。短い針は、だいたい合っていればよいです。★のところは、時計の針をかわせるか、[●:▲]を書かせるか、児童に合わせて決めてください。



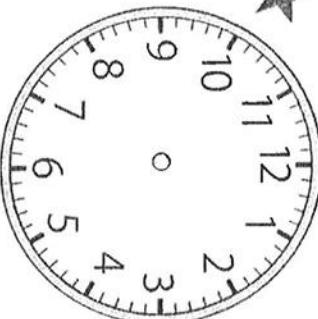
先生にもんだいを出して
もらいましょう。



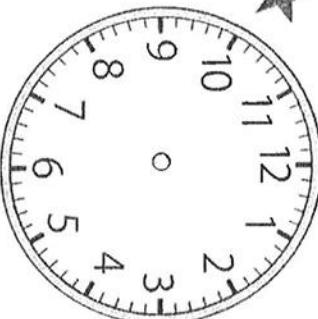
:



:



:



:

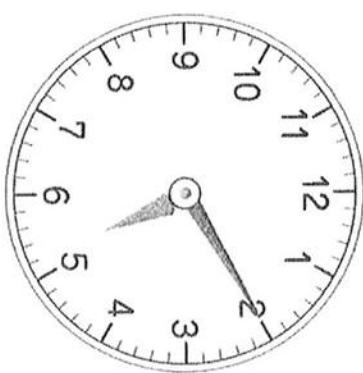
指記録

(できたらここで囲みましょう)

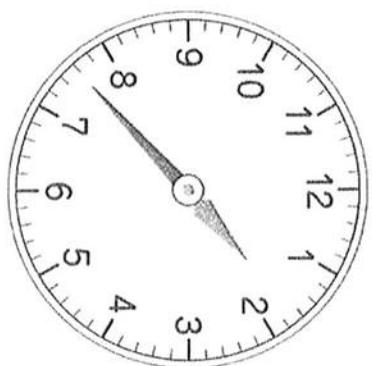


なが
長いはりと短いはりを読みましょう—②

午前 4 時 50 分から午前 5 時 10 分まではなん分でしょう



午後 1 時 24 分から午後 1 時 38 分まではなん分でしょう



分

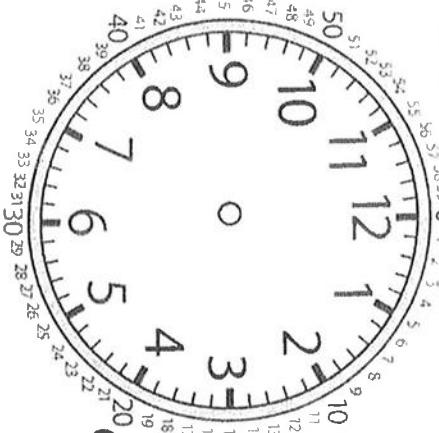


分

5 時間

2 時間と分の換算・「○分間」の読み取り

時計をよく見て、□に当てはまる
数字を書きましょう。



1時間は

□ 分です。

80分は

□ 時間と
□ 分

100分は

□ 時間と
□ 分

120分は

□ 時間と
□ 分

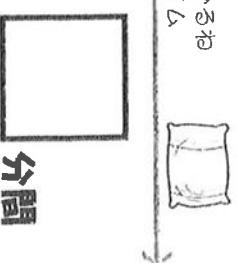
月 日
なまえ



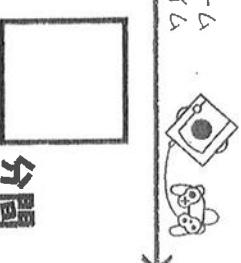
左右の時計をよく見て、
間の時間を書きましょう。



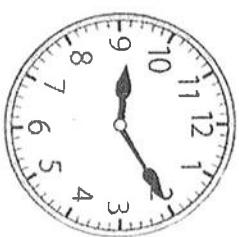
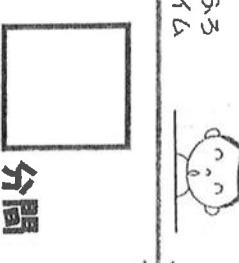
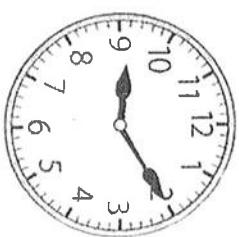
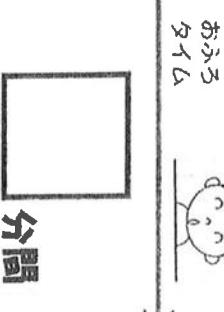
おひるね
タイム



午後
タイム



午前
タイム



教材の特徴

時間が60分であることを理解し、換算する教材です。

また、「時ふん」「あつこがまて」のような「あいだの時間」が理解できていますか？ 実物の時計を使って確認させましょう。

指導目標

(できたらで読みましょう)

- 一人でできる！
- みんなでできる！
- 説明しやすい！

5 時間



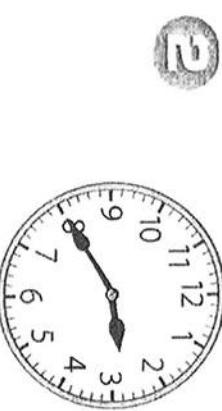
時計をよく見て答えましょう。



ゆみさんは、4:30に電話をかけることになっています。
あと何分ありますか。

今の時刻 :

分

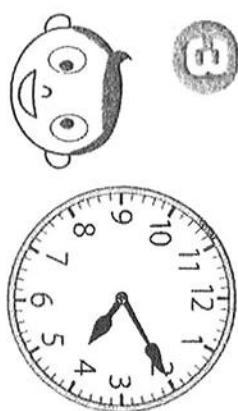
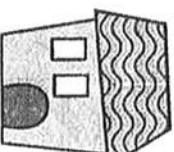


たかしさんは、2:40に家を出て3:00にプールにつきました。

家を出た時刻

:

分

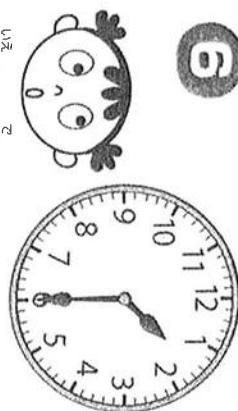


たかしさんは、じゅくがあるので6:00には遊びをあわにします。

あとどのくらいあそべますか。

今の時刻

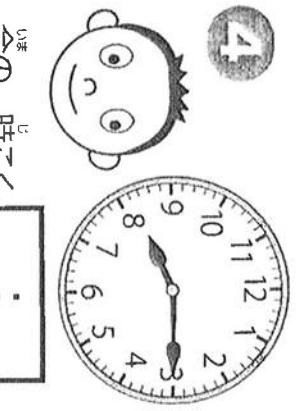
:



ゆみさんは、1:30に家を出て公園に遊びにいき、4:50に帰つてきました。
どのくらい外にいましたか。

家の時刻

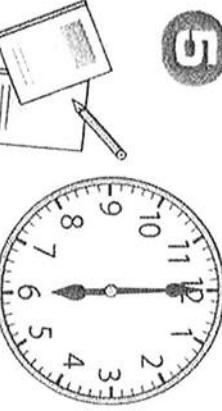
:



おにいさんが「あと30分で家につくよ」と電話をかけてきました。
おにいさんは、何時何分に帰ってきますか。

今の時刻 :

時 分



たかしさんは、これから2時間15分ベン強するよいています。
終わるのは何時何分になりますか。

家の時刻

:

時 分

6 時間にに関する文章問題

教科の目標

時刻と時間に関する問題です。「何分かかりましたか」「あとどのくらいかかる」などの表現から時間の流れが理解できるかどうかをチェックして進めましょう。



月 日 なまえ



おへんきょう

※はりを切りとる際は、はさみや用紙などでケガをしないようご注意ください。

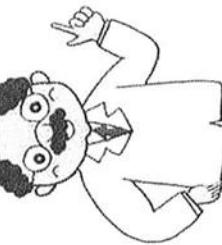
歯詰のあいば／トリあい↓にあります
カバーを本からはずして使いましょう

長いはりと短い
はりは、外がわの太い
線にそつて切れます。
手や指を切りないように
注意しましょう。

切りとつてから、長じはしと短じはしを切りぬきましょう。
(カリトリ)

いはり

短いはり



おうちのかたへ

時計のはりを切り抜き、時計の中心円と長針・短針の中心円を合わせて置きます。お子さまといっしょに、の読みかたや時間の計算など、いろいろな学習にお役立てください。

えんぴつ 時計の おべんきょう